

マスク外して笑顔 卒業式シーズン到来



大阪府立清水谷高校の卒業式では、多くの3年生がマスクを着けずに出席した＝28日午前、大阪市天王寺区(甘利慈撮影)

令和2年の新型コロナウイルスの感染拡大とともに学校生活が始まった高校3年生が卒業シーズンを迎えた。28日に大阪府立高校でも卒業式が行われ、多くの生徒がマスクを外して出席。晴れやかな表情で、新たな一歩を踏み出した。

卒業式でのマスク着用をめぐるっては文部科学省が今月10日、着用せずに出席することを基本とする方針を決定。大阪府教育庁も同様の内容を各校へ通知した。

3年生277人が卒業した府立清水谷高(大阪市天王寺区)でもマスクなしでの出席を原則としつつ、受験生への配慮などから生徒の判断に委ねたところ、約2割の生徒がマスクを着けた。感染防止のため生徒は間隔をあけて着席し、校歌斉唱などではマスクを着用。卒業証書はクラスごとに代表者が受け取った。

日笠賢校長は式辞で制約の多かった学校生活を振り返り「優雅に堂々とした人生を生きてください」とエールを送った。